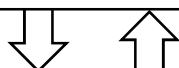


第 5 期中原区区民会議審議テーマの選出について

1) 審議テーマの数、検討の進め方について

- 最初に審議する一つ目のテーマについて、本日決定する。
- 中原区方式では審議テーマについて1つずつ、順番に集中的に審議を進めていく。
- 二つ目以降の審議テーマについては、前の審議テーマの審議・取組がある程度進んだ段階で、順次再検討してもよい。



- 第 5 期の審議テーマ数（2～3）についても検討する。
 テーマ数に応じた「課題調査部会」の開催回数、検討期間等を踏まえる。
 ※「【参考資料 2】第 5 期スケジュール案」参照

2) 審議テーマ選出に際して

テーマ選出に際しては、

- ①より速やかで有効な審議を図るため、
 - ②併せて審議の拡散や既存の施策や過去の取組等との重複を避けるため、
- 以下の内容について、あらかじめできるだけ明確に設定しておく必要がある。

－審議のポイント－

- **中心（メイン）となる課題の設定**
 特に解決を図りたい、検討の中心に据える課題を中心として検討。
 （審議の拡散を避け、テーマを絞り込むなどする。）
- **副次的（サブ）な課題の設定（他分野や他課題との関連性や連携の可能性）**
 中心となる課題に関連性の深い他の地域課題や、資源の活用や連携を図ることで相乗効果が期待できる活動や他分野などについて確認し、その可能性等についても検討。
- **中原区の特徴や現状（審議テーマに関する）**
 区の特徴や現状を踏まえた上で、審議テーマを検討。
- **第 1～4 期区民会議での審議・取組状況、行政による施策・取組状況**
 第 1 期～第 4 期の区民会議での類似テーマの審議・取組状況、その成果、行政の施策やその他活動団体等の取組の現況を踏まえて検討。
- **取組のターゲット、ねらい、到達目標など**
 スケジュール（進行管理）とともに、取組の対象や担い手・実現性、ねらう成果や到達目標等を念頭に置きながら、審議する。

第5期中原区区民会議審議テーマの選出について

3) 審議テーマの設定

第5期テーマ	記 載 欄	テーマ例示					
		分野別に意見数が多かったもの		分野を横断的に捉えたもの		その他	
テーマ分野		(例) 子育て支援	(例) 地域コミュニティ	(例) 情報(魅力)発信	(例) 地域支え合い	(例) 自転車対策	(例) ごみ問題
中心となる課題		(例) ・親子の居場所づくり ・親子の交流	(例) ・新旧住民の交流、従来の町会と新興のマンションの地域コミュニティの融合・一体化	(例) ・商店街・伝統文化の魅力発信	(例) ・活動団体のネットワーク化	(例) ・自転車のマナーや違法駐輪対策	(例) ・ごみ排出マナー
サブとなる課題 (他分野との連携)		(例) ・親の教育など ・世代交流(シニア世代の活用など) ・商店街振興 ・情報発信など	(例) ・町内会自治会の活性化、地域人材の発掘など ・情報発信(商店街や伝統文化等の魅力発信)を通じて地域に関わる、興味を持つきっかけづくり	(例) ・新旧住民の交流、世代間交流、子育て振興などを、成果や実現性を見据え、関連させて展開	(例) ・弱者支援の強化 ・防犯パトロール、子育て支援、災害時要援護者支援、高齢者・障がい者・外国人等の弱者支援などの横断テーマ	(例) ・ごみ排出マナーや家庭教育におけるマナーを通じたモラル・マナーのテーマ	(例) ・自転車のマナーや家庭教育におけるマナーを通じたモラル・マナーのテーマ
中原区の特徴・現状	[別紙 参考資料3-1参照]	(例) ・子どもの人口が多い(子育て現役世代の転入) ・子育て支援活動の不足。	(例) ・再開発等による現役世代中心の人口増加 ・地域活動に参加しない、興味を示さない住民の存在	(例) ・再開発が進む環境下で、従来からの地域の魅力の再発信の必要性	(例) ・転入人口の多さ＝地域支え合いの重要性高まる。	(例) ・商店街の買物客に対する短時間駐輪場の確保等対策の必要性	(例)
既存の取組状況等	[別紙 参考資料3-2、参考資料3-3参照]	(例) ・子育てふれあいカフェ(第3・4期提案から)	(例)	(例) ・なかはらメディアネットワーク	(例)	(例) ・町内会、商店街、企業等との協働による、利用者への啓発活動等	(例)
ねらい・目標				(例) ・情報発信の主なターゲットは新住民?			

審議テーマ (タイトル) 『

』